

3 平成18年度札幌南一条病院の事業計画と運営目標

平成18年度札幌南一条病院 B S C シート

ミッション	厳しい医療情勢に耐えうる、質の高い活力ある病院を目指す。		
運営方針	病院の専門性と独自性をより一層充実させる。 診療の効率化と環境整備につとめると同時に財政基盤を安定させる。 当院を中心とした地域完結型の医療の再構築を行う。		
	指 標	平成18年度目標値	中長期的目標値
財務の視点	①医業収益	20.5億円	21億円
	②キャッシュフローマージン	6 %	8 %
	③一般病棟ベッド稼働率	80%	82%
	④血液透析患者数	135名	150名
顧客の視点	⑤年間健診患者数	200以上	300以上
	⑥患者満足度	良い以上90%	良い以上95%
	⑦職員満足度	すべての項目5以上	すべての項目5.5以上

内部プロセスの視点	⑧レベル3以上のインシデント数	40以下	30以下
	⑨QC活動サークル数	5以上	8以上
	⑩平均在院日数	18日以下	17.5日以下
学習・成長の視点	⑪HOT／SAS新規導入患者数	10／15	15／30
	⑫腎生検／PTA／シャント手術数	12／25／25	15／30／30
	⑬冠動脈造影／PTCA／PMI数	70／15／15	80／20／20

	指 標	平成18年度目標値	アクションプラン
財務の視点	①医業収益	20.5億円	9 階病棟有効活用 ジェネリック薬導入 診療材料の適正化 在宅施設との協調 在宅医療への参加
	②キャッシュフローマージン	6 %	
	③一般病棟ベッド稼働率	80%	
	④血液透析患者数	135名	
顧客の視点	⑤年間健診患者数	200以上	学会・研究会参加 健診業務の新設 環境設備の充実 Q C 活動の啓蒙
	⑥患者満足度	良い以上90%	
	⑦職員満足度	すべての項目 5 以上	
内部プロセスの視点	⑧平均在院日数	18日以下	在院日数除外患者 入院透析患者引受け 療養病棟一部廃止 障害病棟の開設
	⑨Q C 活動サークル数	5 以上	
	⑩レベル 3 以上のインシデント数	40以下	
学習・成長の視点	⑪H O T / S A S 患者数	10 / 15	病診連携の強化 技術研修 腎臓病教室（調理） 腎臓通信
	⑫腎生検 / P T A / シャント手術数	12 / 25 / 25	
	⑬冠動脈造影 / P T C A / P M I 数	70 / 15 / 15	

平成18年度の事業計画と運営目標を説明します。

- ①巻頭言に述べたように、今年度は診療報酬の改定により、平均でも3.16%の大幅な収入低下が予想されます。それでも、自助努力により昨年目標を超える20.5億円の収入を目指したいと思います。内容も効率化を行いキャッシュフローマージンで6%の利益を確保したいと思います。このためには、昨年度より一般病床の稼働率を3%あげて、80%にしたいと考えています。これを実現するために、9 階病棟の改築を行い稼働率のアップを図ると同時に、一般病棟化した5 階病棟のベッド稼働率の確保も行う必要があります。血液透析患者も微増の135名を目指したいと考えております。昨年度は特にCAPDの導入も多く、患者さんの治療選択肢を多くしながら、達成していきたいと考えています。
- ②職員満足度調査で、全ての項目が5 以上になるように施設整備をするのと同時に、仕事の効率化を推し進めたいと思います。昨年度は、目標に設定した紹介率については、今年度の診療報酬改定にて、紹介率を基にした加算はすべて廃止されたので、B S Cからも削除したいと思います。変わりに、本年度より始めた健診数の年間200以上を目標に掲げたいと思います。
- ③内部プロセスの視点として、インシデント数を特にレベル3 以上のインシデント数に絞って年間40以下にすることを目標にしたいと思います。Q C 活動も昨年度と同様5 サークル以上の参加を期待しています。平均在院日数は昨年同様18日以下を保つように努力したいと思っています。
- ④学習の視点からは、今年度は呼吸器科にも数値目標を入れてもらいました。循環器・腎臓内科も関与してきますが、H O T 患者の年間導入10以上を目標に加えています。各検査や手術は昨年の実績を基に、あまり、無理のない目標設定をしています。短期的には、今年度の診療報酬改定を乗り越えること。中期的には4 年後にあるD P C 導入と病院機能評価の再審を視野に入れて準備すること、長期的観点から健診ドックの充実や在宅医療への参画などの“当院を中心にすえた地域完結型医療の再構築”を行う土台作りをする年度にしたいと考えています。